

2024年1月15日

2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人ならはらの森なかの学舎

代表者・役職名 氏名 代表理事 高橋 恵子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ありのままの自分でいられる居場所を、子どもたちに！～小さな森の小さな家プロジェクト～

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2021年1月、増加する不登校児童生徒への支援を目的とし、学校法人八王子中村学園なかの幼稚園前園長である高橋恵子を代表とする同園保護者の有志により任意団体として発足。同年5月より代表所有の土地にて青空の下、フリースクール活動を開始。同年9月に建物が完成。翌2022年4月にNPO法人格を取得。現在法人2年目。当初5人だった登録児童生徒数は、現在69名。八王子市内はもとより12他市区町村、隣接3県から子どもが通っています。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

急増する登録児童生徒数に対して、活動スペース、静かに過ごしたり、クールダウンしたりするための十分な空間の確保が喫緊の課題です。建物の中だけでは限界があるため、敷地内に大きな東屋(ガゼボ)を建てることで、その課題を緩和することが本プロジェクトの目的です。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

大きな東屋(ガゼボ)の組み立てキットを購入し、当施設を利用している子どもたち、保護者、支援者、スタッフのみなで力を合わせて、組み上げ、完成させ、そこを新たな子どもたちの活動スペースとして活用していきます。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

約4m四方の大きな東屋(ガゼボ)を敷地内に建てることができました。フリースクールの子どもの活動スペースとしてはもちろん、毎月1回開催している子ども食堂の際の子どもの食事スペースとしても重宝しています。組み立ての作業を子どもたち、保護者、支援者、スタッフのみなで協働したことによって、お互いのつながりがより強くなるとともに、よい思い出として参加者の心にも残っていることを感じます。本プロジェクトによって、当初の課題であったスペースの確保のみならず、敷地がより魅力的な景観ともなり、子どもたちが安心して過ごせる居場所へと以前にも増して近付くことができました。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

お陰様で当初の計画通りにプロジェクトを実施することができました。本当にありがとうございました。今後の課題としては、さらなるスペースの確保が挙げられます。見学・体験の問い合わせも途絶えることなく、このままのペースで子どもたちが増えていくことを考えると、まだまだスペースが充分とは言えない状況です。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



